地域情報紙 よみっこ
No. 3434
2026年（令和8年）
11月24日火曜日
発行部数：4500部 / 日刊（月曜日・祝日休刊）
発行：読売センターめじろ台 よみっこ編集局 代表責任者：一本杉裕史 〒193-0942東京都八王子市椚田町586-3 電話（042）668-8030 yomikko99@gmail.com https://yomicco.wixsite.com/website

今日の格言・名言

道場六三郎

人の二倍働く、人が三年かかって覚える仕事を一年で身につける

着たい服を楽に、楽しく

装いサポートネット

以前、めじろ台テラスで行われている「衣服を身体の状態に合わせ、おしゃれで着やすい服にする」取り組みを進める雙田さん（教育学博士）達を紹介しました。その活動が大きく広がっています。今回は、ファッションショー。



「10年ぶりのGパンです」と笑顔の安部さん



展示会の様子（クリエイトホール）

私もおしゃれしようかな

クリエイトホールで開催されたイベントの前半は、様々な工夫を凝らして、お直しした洋服の展示会。後半がファッションショー。



成田さん（めじろ台在住）



斧林さん（めじろ台在住）

活動が広まるなか、「洋服は着ている人の笑顔を見て初めて『いいなあ、私もおしゃれしようかな』と思うもの。そんな声をきっかけに開くことにしました」と雙田さん。

モデルは、60～80歳代の5名。本人が持っている服の中から「お気に入りだから、もう一度着たい」と願う服を、本人の状態に合わせて作り直しました。ヘアメイクはアポロ美容理容専門学校、洋服の直しは（株）リラ・ヴォーグさんがボランティアで担当。

脳梗塞の後遺症で左半身に麻痺が残った安部さん（館町）のお気に入りはGパン。ボタンをスナップに付け替え、ずれないように内側にゴムが付けられました。上着（Gジャン）もボタンをスナップに付け替えたので片手で留めることができます。Tシャツの脇には着やすいようにマチが付けられました。「10年ぶりにお気に入りのGパンを身に付けて、気持ちが若返りました」と笑顔。他の4名の女性も、着やすいように直してもらったお気に入りの服で登場し、ご満悦。

あなたのお針箱

活動の広がりについて聞きました。

「スタートは2人でしたが、仲間が7名に増え、『装いサポートネット』という名称で、**めじろ台会館**と**横山南市民センター**で『あなたのお針箱』（ボタン付けやほつれ直しなどの小さな繕い物を、市価の2分の1～3分の1で引き受け、料金の半分を謝礼として支払う有償ボランティア）という小さな繕い物のプロジェクトを始めました」とのこと。

こちらの活動にも多くのメンバーが集まり現在9名。「針仕事が好きな方もいらっしゃいますし、人の役に立ちたいと思われている人が想像以上に多いんです」と。

次回は12月11日。ダーニング（穴あき、ほつれを補修するヨーロッパの伝統的な衣類の繕い方法）の勉強会も行われるとのこと。「一緒に作業してくださる方も募集しています。興味のある方、大歓迎です」とのこと。（中塚）

「あなたのお針箱」
12月11日（金） 13時～15時
横山南市民センター第1会議室 予約不要
■ボタン付け 1か所100円（無料ボタンあり）
■裾のまつり直し 10cmあたり100円
■マグネットボタンへの付け替え 1か所150円
【問合】yosooi.network@gmail.com

今日のクイズ？

謎解き【上級】


→○①き


→○ん②


→○ん③

①′ ② ③ ＝？

ヒント：イラストの「名前」ではなく、「数」が重要です。答えは湖の名前。